

# 競技に関する注意事項

1. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
2. 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
3. 招集、リレーのオーダー用紙提出について
  - (1) 招集時間は競技開始時間を基準とし、トラック競技は40分前、フィールド競技は50分前より招集を開始し、トラック競技は20分前、フィールド競技は30分前に招集を完了する。ただし棒高跳は90分前から開始し、60分前に完了する。
  - (2) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに提出する。
  - (3) 招集場所、オーダー用紙提出場所は、100mスタート地点の後方に設ける。
4. ナンバーカードについて
  - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでよい。
  - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
  - (3) 3000m、5000mは「腰ナンバーカード」を左右両方につける。
  - (4) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
5. 競技について
  - (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
  - (2) 競技者の変更はいつさい認めない。
  - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、やり投のやりについては、検査を受けて使用することができる。
  - (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
  - (5) 400mまでのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
  - (6) 3000m、5000mではグループスタートを実施する。招集が完了し、出場者が確定してからグループを分ける。
  - (7) 競技運営上、5000mは20分、3000mは14分で競技を打ち切る。
  - (8) 三段跳びの踏み切り板は、男子11m、女子9mとする。
  - (9) 競技運営上、フィールド競技の2回目以後の試技で、計測ラインを設ける場合がある。
  - (10) 走高跳と棒高跳を除くフィールド競技の試技数は3回までとする。
  - (11) 走高跳、棒高跳については1位決定戦を行わない。

## 6. その他

- (1) 役員及び開場前の準備を依頼された学校の生徒以外は、開門前に競技場内に入場しない。競技中は、正面本部前の通行は禁止。また、競技終了後は、すみやかに競技場を出る。
- (2) 各団体の待機場所は、スタンドの上を原則とする。本部以外のスタンド下の部屋は、待機場所として認めるが、応援についてはスタンドから行う。また、中央入口より北側の軒下のスペースは待機場所として認めない。
- (3) ウォーミングアップ場は特に設定していないが、安全に留意し、競技及び競技運営に支障のない場所で行う(競技役員の指示に従う)。
- (4) 競技会における怪我等については、応急処置を行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 貴重品・衣服等の管理は、各団体で責任を持って行う。
- (6) ゴミの処理は、各団体で責任を持って確実に行う。詳しくは、時間プロの前のページを見ること。
- (7) メインスタンドには原則テントを使用しない。その他の場所でのテントを使用する場合、風で飛ばないように注意すること。
- (8) 本大会の清掃当番校は1日目 **豊田西高校、豊田工業高校**、2日目 **豊田大谷高校、猿投農林高校**です。競技終了後、本部前に集合して下さい。